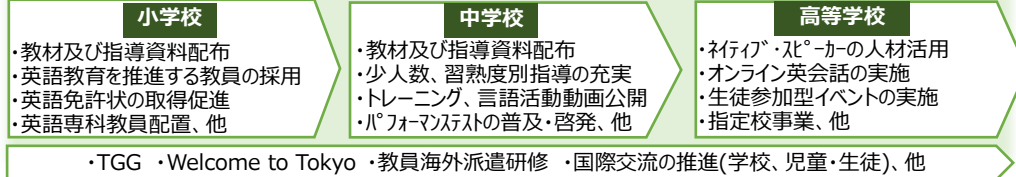


東京都中学校英語スピーキングテスト事業について

1 令和3年度の進捗状況について

(1) 事業の目的

小・中・高等学校で一貫した英語教育を推進



- 「話すこと」の能力を測るアチーブメントテストとして実施し、その結果を**小学校、中学校及び高等学校における英語指導の改善**に活用
- 義務教育の学習の成果を的確にみるために、都立高校入試において英語4技能のうち「話すこと」の能力について**ESAT-Jの結果を活用**

(2) 事業スキーム及びスピーキングテストの特徴

(ア) 事業スキーム

都教委と事業者が協定を締結し、都教委の監修の下に作成された問題により、新たなスピーキングテスト「ESAT-J」
(English Speaking Achievement Test for Junior high school students) を共同で実施



(イ) 特徴

- 学習指導要領及び都教委の出題方針に基づき出題
- 事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりする「話すこと」の取組の成果を評価
- 「話すこと」の能力を、都教委の基準により段階別に表示

(3) 令和3年度の事業実施概要

項目	内容
(ア) 受験対象者	都内公立中学校第3学年の全生徒 約80,000人
(イ) 実施日	中学校会場集中実施日：9/25, 10/2, 9, 16 外部会場実施日：10/1 ※集中実施日以外での実施校あり 全会場において授業日に実施
(ウ) 会場	中学校(508校)、都立高校(64校)、民間施設(1会場)
(エ) 試験監督及び採点	実施協定に基づき、事業者が実施
(オ) 実施方式	タブレット端末を使用し、解答音声を録音
(カ) 結果返却	個人結果帳票【スコア(上限100)及び都教委による段階別(6段階)評価]、学校及び自治体向けデータ提供



(4) 感染症対策

※新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン【都立学校】
～学校の「新しい日常」の定着に向けて～改訂版 ver.3等に基づく

対策	外部会場	中学校会場
受験者間の間隔確保	1教室20名	身体的距離を確保した座席配置
使用機器の除菌	タブレットは除菌して使用、イヤホンマイク、イヤーマフを共用しない	
換気の徹底	複数のドア・窓を開放	
健康管理・検温	生徒、教員、試験監督の検温及び健康状態の確認	
飛沫感染防止	50cm程度の距離にいる相手に通常話す程度の声量で録音可能	
その他	手指消毒の徹底、マスク着用、事後の連絡先の共有 交通機関の利用なし	

(5) 令和4年度以降の予定

令和4年7月下旬から
9月上旬まで

ウェブによる申込
及び 特別措置申請

令和4年11月27日(日)
(予備日)12月18日(日)

ESAT-J 受験
【外部会場】

令和5年
1月中旬

個人及び中学校
結果帳票の受取

※ 令和5年2月 都立高校入選での結果活用

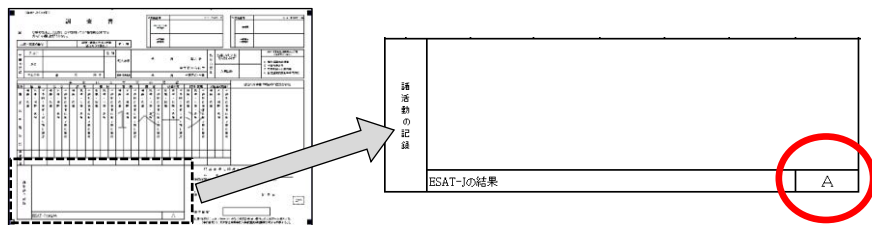
2 東京都立高等学校入学者選抜における東京都中学校英語スピーキングテスト結果の活用について

東京都立高等学校入学者選抜では、令和5年度入学者選抜（令和4年度実施）から東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果を活用し、英語4技能のうち「話すこと」の能力をみることにする。

(1) 中学校からの提出

中学校は、提供を受けた結果を、生徒の調査書に記載する。調査書は、生徒の志願先の都立高等学校へ提出する。

※ 調査書にESAT-Jの結果を記載して提出するのは、第一次募集・分割前期募集以降の選抜とする。



(2) 評価の点数化

都立高等学校では、AからFまでの6段階で提出された評価を、20点満点（※）の点数として取り扱う。

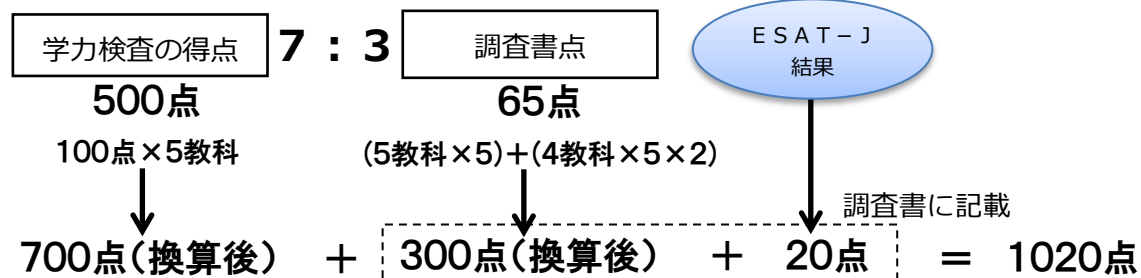
※ 正式決定は、「令和5年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱」に定める予定

A	20点
B	16点
C	12点
D	8点
E	4点
F	0点

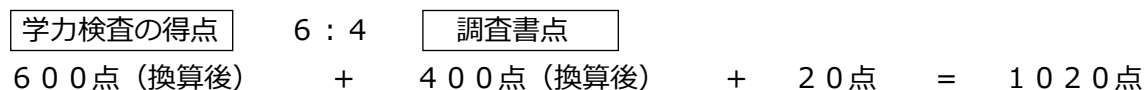
(3) 総合得点への加算

都立高等学校では、学力検査の得点と調査書点の合計（1000点満点）にESAT-Jの点数を加え、総合得点を算出する。

【第一次募集・分割前期募集】



【分割後期募集・第二次募集】



ESAT-J 不受験者の扱い

ESAT-Jを受験しなかった生徒も、東京都立高等学校入学者選抜において不利にならないように取り扱う。

当該不受験者の学力検査の英語の得点から、仮の「ESAT-Jの結果」を求め、総合得点に加算する。